

# 市民参画 + 協働 で 小金井 **新** 時代を創る



## 西岡真一郎 さんが決意

◆編集部：今の小金井市について、西岡真一郎さんに伺いました。

◆西岡真一郎：「2年前の平成25年、市民のみなさまから厳しい審判をいただき、都議会議員選挙に落選しました。深い反省をしながら、自分自身の進むべき道は何なのか、私を育ててくださった小金井市にどう恩返しをすればいいのか、悩みながらの日々が続きました。幸いなことに保育園ではたらく機会に恵まれ、民間企業の厳しさを肌身で感じるとともに、子どもたちや保護者の方々、保育士さんたちと接する中で「人が生き活きと暮らしているまちがどれだけすばらしいか」を実感しました。

あらためて私のふるさと、小金井市を見つめなおしてみると、市のシンボルでありながらも減少していく豊かな緑、厳しい市の財政状況、市庁舎をめぐる問題など長年の課題が多く残されています。

その一方でたくさんの魅力、市民力や地域力にあふれています。多様なジャンルにわたり活発に展開される市民活動、小さい頃の遊び場だった野川やくじら山に象徴される水と緑の自然環境、それら小金井の「宝」をさらに発見し、集めて、むすびつければ、もっと生き活きとした小金井市になる。そう実感しています。

今、小金井市に必要なのは新たなビジョンです。それも、市民のみなさまと一緒に創ることこそが必要です。ふるさと小金井の新しい時代を築き上げる。そう決意しました。もっと魅力のある、もっと誇りのもてる生き活きとした新しい小金井市へ。一緒にデザインしましょう！」

◆編集部：期待しています。

## 人が生き活きと 暮らしている まちへ





## Q: 今、必要なのは？

# みんなでデザインすること！

◆編集部：小金井市の未来に何が必要か。西岡真一郎さんに聞いてみました。

◆西岡真一郎：「生き生きとしたまちにするには、市民みんなが一緒に考え、一緒に行動できるようにすることが大切です。もちろん、持ち場はそれぞれ。できることを少しでもはじめることで、まちは大きく変わります。そのためには、みんなで小金井市をデザインできる委員会が必要です。短期、中期、長期に分けてデザインすることも必要です。

委員会は、小金井市民が小金井の魅力を発見することからはじめます。「ないものねだり」よりも「あるものさがし」への意識改革に取り組み、市民の皆さんが小金井市に住み続けたい、市外の方々からも住んでみたいと思っただくことで誇りの持てる小金井市になります。

小金井市の魅力はたくさんあります。魅力を市民や地域、商業や工業、農業関係者など多くの方々のアイデアでさらに活かせば、小金井市の新しい未来も創りだせます。

まずは、市民参画で小金井市にある多くの素晴らしい財産、文化、人財、地域活動、イベントなどを再発見して、市民の逞しい潜在力を引き出し、小金井の魅力を内外に発信し、小金井の魅力を向上しましょう。ここがデザインのスタートです」(次号に続く)



▲西岡真一郎さんの勤務先保育園で

### ◆西岡真一郎 (にしおか しんいちろう) さんプロフィール◆

1969 (昭和 44) 年 5 月 11 日生、46 才、牡牛座◆無所属◆履歴：小金井市立南小学校、小金井市立第二中学校、都立清瀬高校、獨協大学経済学部卒業。自由民主党本部事務局、新党さきがけ本部事務局に勤務後、米国政府インターナショナル・ビジター・プログラム。1997 年小金井市議会議員当選 (2 期 8 年)、2005 年東京都議会議員 (2 期 8 年・民主党公認)、2013 年 3 期目に挑むも惜敗。パピーナ本天沼保育園 (認可) 事務長◆主な地域活動：小金井市トライアスロン連合会長、小金井市遺族会会長代行、小金井薪能理事、こども達を薬害から守る実行委員会委員、小金井青年会議所シニアクラブ理事、東京小金井ライオンズクラブ理事、NPO 法人小金井桜を復活する会副理事長 他

無所属  
小金井育ち



小金井が好きだ！



小金井の未来をつくる会 facebook はこちら  
<https://www.facebook.com/nishioakashinichirou>

